

茨P連の要望活動

10月22日(水)に県議会議員、県教育委員会教育長へ、茨P連からの要望書(陳情書)を手渡ししてきました。



県議会議員室での様子

西野一議長(右)に陳情書を
手渡す草地区会長(県議会議
事堂)

県PTA連絡協議会(草
地区会長)は22日、教職員
の働き方改革や部活動の地
域移行に向けた支援などを
求める陳情書を県議会に提
出した。この日、草地区会
長が西野一議長を訪ね、
陳情書を手渡した。

陳情では、教職員の働き
方改革へ向けた教員業務支
援員拡充のほか、部活動の
地域移行に取組む各市町
村の情報共有や保護者負担
の地域格差解消、校内フリ
ースクールの全校設置など
を要望。このほか、緊急性
のない救急搬送患者からの
選定療養費徴収について、
学校からの要請の場合は対
象外とする配慮も求めた。

同会は2023年度以
降、教育の地域格差解消に
向け、県議会に陳情を行っ
ている。草地区会長は「物価
高騰や社会情勢の変化によ
る地域格差がなくなるよう
お願いしたい」と訴えた。

**教員働き方改革
地域移行支援を
県PTA連絡協議会(草
地区会長)**

会長以下、6名の副会長が、西野一県議会議長に要望を陳情しました。体育館のエアコン設置や教職員の働き方改革の推進など、要望事項は茨P連第1回理事会等で各市町村の代表である理事の皆様アンケートした結果を基に作成し、PTAの声としてお届けしました。

陳情書はこの後、県議会の文教警察委員会に取り扱われることになります。

陳情の様子が茨城新聞にも掲載されました。この県議会への陳情活動は2023年より毎年行われています。

(10/23茨城新聞より)

県教育委員会教育長との懇談



今年から、県教委の柳橋 常喜 教育長と要望について懇談する機会を設けていただきました。

小・中・義務教育学校の学習環境等については、設置者である各市町村の管轄ですが、県教委として、指導助言、県の補助等について格段の配慮をお願いしました。

部活動地域展開や保護者負担の軽減など、地域格差がなく子どもたちが安心して活動ができる環境づくりをお願いしました。



ご多用の中、対応していただきました、西野県議会議長、柳橋教育長、2つの要望活動の実現に関わっていただきました関係各課の皆様心から感謝申し上げます。

会員の皆様の声を県へ届けることは、茨P連重要な役割の一つと考え、これからも継続して参ります。皆様のご協力をお願いいたします。

